

最初にお読みください

サード・パーティ製プラグイン

ここでは Pro Tools LE 6.1 でサード・パーティ製プラグインを使用する場合の注意点について記載しています。DigiRack プラグインに関しては、Pro Tools 6.1 の「最初にお読みください」を参照してください。

既知の問題点

ここでは Pro Tools 6.1 システムでプラグインを使用する場合の注意 / 問題点についてと、その解決方法を記載しています。

Access Virus Indigo

プリセット・ライブラリー読み込みによるプリセット設定の遅れ

Virus Indigo プラグインを実行する際、各プラグインのプリセット・ライブラリアンへプリセットがロードされるまでに数秒かかる場合があります (CPU 速度に依存)。プラグイン・プリセットは、プリセット・ライブラリアン・メニューをクリックした時点からロードが開始され、その間はプラグイン上に現れません。プリセットが一度ロードされると、ライブラリアン内のプラグイン・プリセットへアクセスした際に遅れは発生しませんが、同一セッション内の別のインサートにプラグインが選ばれた場合には、同様の遅れが生じます。

Aphex Aural Exciter

Aural Exciter のドライブ・ゲイン・ブーストが減少

Aural Exciter 2.0 では、Drive ゲイン・ブーストが、これまでのバージョンでの +12 dB / +24 dB から、+6 dB / +18 dB へ減少されています。これによって、ハーモニック・ジェネレーターをクリッピングせずに、よりホットなシグナルへ対応可能になりました。Big Bottom Pro には Drive レベル・コントロールが搭載されているため、Drive ゲイン・ブーストに変更はありません。

旧バージョンの Aural Exciter で生じた SPR での歪みを修正

旧バージョンの Aural Exciter では、150 Hz 以下、および -5 dB を越えるオーディオが SPR 機能を通過する際に、歪みが生じることが確認されました。この問題は、v2.0 で修正されています。

Aural Exciter はバイパス時に TDM ディレイ補正を実行しない (Item #35505)

Aural Exciter では、バイパス時の TDM ディレイは 3 サンプル、実行時の TDM ディレイは 14 サンプルです。プラグインをバイパスする際は、DigiRack Time Adjuster プラグインを使用し、マニュアルでディレイ補正する必要があります。

Dolby Surround Tools

Windows XP システム上での Dolby Surround Panner

Windows XP 用 Dolby Surround Panner プラグインでは、Crosshairコントロールは機能しません。それ以外の機能は問題なく動作します。

Dolby Surround Panner のミュート・ボタン (Mac OS 9 および Windows XP のみ)

Dolby Surround Panner プラグインのミュート・ボタンをオンにしてセッションを保存する場合、セッションを再び開いた際に、ミュート・ボタンのライトはオンになりません。その場合でも、プラグインは正しくミュートの状態になっています。ミュート・ボタンを一旦オフにしてからオンにすると、ライトが点灯します。

Dolby Surround Panner と Decoder のファイル設定

Dolby Surround Panner と Dolby Surround Decoder のプラグイン設定は、それぞれの設定リストに表示されます。Dolby Surround Panner の設定を Dolby Surround Decoder の設定として選んだ場合、設定は変更されます。これは逆の場合でも同じです。

Sonic NoNOISE

DeCrackling プロセスはが非動作

Sonic NoNOISE for Pro Tools v1.2 の DeCrackling 機能は正しく動作しません。この問題は現在修正作業中です。詳細については、Digidesign の Web サイト (www.digidesign.com/support) でご確認ください。

NoNOISE DeCrackler または Manual DeClicker でのエラー -34 「Disk Too Full」または「No Audio Selected」 (Mac OS 9 のみ)

NoNOISE AudioSuite DeCrackler または Manual DeClicker を使用する際、エラー-34「Disk Too Full」または「No Audio Selected」というエラー・メッセージが表示される場合があります。

このエラーを回避するには、次の Audio Suite プラグイン・オプションを選択する必要があります：

- 1 [選択範囲全体] を選択します ([リージョンごと] は選択しないでください)。
- 2 [連続ファイルを作成] を選択します ([個別ファイルを作成] は選択しないでください)。

その他のプラグイン

このセクションでは、Pro Tools 6.1 使用時のその他のプラグインについて記載しています。

旧バージョンの Pro Tools からプラグインを伴ったセッションを Pro Tools 6.1 へ転送する

旧バージョンの Pro Tools で作成したセッションからデータをインポートする際、全ての関連プラグイン設定 (Plug-In Settings) ファイルはインポートされません。この場合、Finder 上でプラグイン設定ファイル (Plug-In Settings) を手動でコピーする必要があります。

TDM と LE システム間のプラグインを伴ったセッション転送

LE と TDM 間でセッション転送を行う場合、プラグイン設定は、そのセッションの Plug-In Settings (プラグイン設定) フォルダ内にコピーする必要があります。これにより、正しいプラグイン・プリセット名がレストアされます。

TDM システム上の RTAS プラグイン

TDM システム上で RTAS プラグインを使用する際、DAE -6031 または -9128 エラーが生じる可能性があります。この場合は、[プレイバックエンジン] ダイアログ内で [H/W バッファサイズ] と [CPU 使用限度] の値をそれぞれ増やす事でシステムパフォーマンスを向上させることができます (この詳細については、「Pro Tools リファレンス・ガイド」を参照してください)。遅い CPU を使用する場合は、使用する RTAS プラグイン数を減らす必要がある場合もあります。

▲ ハードウェア・バッファ・サイズを増やすと、スクリーン・リドローや操作反応が遅くなるのに加えて、プラグイン・パラメーター、ミュート・データ、そしてタイムスタンプされていない MIDI トラックのタイミングの精度等にも影響を与えます。

AudioSuite プロセッシングとサイドチェーンインプット

選択基準がリージョン・リストに設定されていると、プラグイン (例: d3、Compressor、Limiter 等) 内のサイドチェーン・インプットは、AudioSuite プロセス上では効果がありません。

AudioSuite とマルチチャンネルリージョン

異なったフォーマット (例: モノ、ステレオ及びマルチチャンネル・サラウンド等) のリージョンを複数選んでプロセスした場合、実際に実行されるのは、そのプラグインでサポートしているフォーマットのリージョンに対してのみとなります。